

新庄市の部活動改革の取組み

新庄市の部活動の現状と課題

公立中学校数	5 校 (うち 2 校が義務教育学校)
公立中学校 生徒数	809 人
部活動数	運動 13種目 46部活動 文化 4種目 7部活動 (休日の活動なし 3部活動)

令和4年9月 部活動に関するアンケート調査実施

- ① (中学1~3年生) 入りたい部活動がありましたか? → ない 12.5 %
- ② (小学4~6年生) 入りたい部活動はありますか? → ない 28.3 %
- ③ (保護者) 休日の部活動の地域移行に賛成ですか? → 賛成 70.7 %
- ④ (教職員) 部活動業務は負担に感じますか? → はい 76.9 %



- ・少子化に伴う部員数の減少が著しく、休部や廃部を余儀なくされる部活動がある。
- ・大会参加における最低出場人数が確保できず、複数校による合同チームを組んで出場している競技がすべての学校にある。
- ・本来希望する競技が部活動にない。
- ・部活動顧問が必ずしも専門的な指導者ではない。多くの顧問にとって部活動の負担が大きい。

地域展開の取組

令和4年11月 新庄市休日の部活動の地域移行検討委員会を設立

- ・教育委員会、各校長、各競技団体の代表者、保護者の代表者等を検討委員に据え、年間2~3回の検討委員会を開催。

令和5年3月 新庄市休日の部活動の地域移行方針を策定

- ・休日の部活動は令和6年度から廃止し、地域クラブの活動へ移行する。(令和7年度までは移行期間として、学校に主体を置いた部活動に準じた形での活動を認める。)
- ・地域クラブへの加入は任意加入とし、生徒自身が選択する。平日に行っている部活動と違う種目でもよい。
- ・休日の活動を希望する生徒のために、地域クラブを受け皿として整備する。その際、クラブごとに規約を定める。

令和5年9月 地域クラブ登録の開始

中学生の受け入れが可能な団体は「地域クラブ」として登録してもらう登録制度を開始。クラブチームや部活動の保護者会クラブ、民間のスポーツクラブなど運営主体は様々。

受け皿予定となる団体に対し「地域クラブ」設立のための説明会を実施。設立に必要な規約案を提示するなど、受け皿予定団体がスムーズに地域クラブを設立できるように支援を実施した。

新庄市の部活動改革の取組み

地域展開の成果

部活動の休日の受け皿となる地域クラブの立ち上げが進み、令和7年10月31日時点で30クラブが市に対して地域クラブ登録を行い活動しています。種目ごとにみると、ソフトボールを除き、移行先の地域クラブがある状態となっております。

部活動にある（あった）種目	軟式野球、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、バレー、バスケットボール（男子・女子）、卓球、剣道、柔道、空手、水泳、陸上、 ソフトボール 、吹奏楽 (休日の活動なし：芸術、校外活動、総合文化)		
登録されている 地域クラブ数	30 クラブ		
ケーブル別	A : 部活動にある（あった）種目の地域クラブ数	26 クラブ	
	軟式野球、サッカー、バドミントン、ソフトテニス、バレー、バスケットボール（男子・女子）、卓球、剣道、柔道、空手、水泳、陸上、吹奏楽、総合文化		
	B : 部活動にはない種目の地域クラブ数	4 クラブ	
	硬式野球、合気道、弓道、ダンス		
休日の活動が 移行された部活数	45 部活動（運動 41部活動、文化 4部活動） (※部活動単位での移行状況（登録していない地域クラブへ移行している部活動も含む）)		

新庄市ホームページにて、市登録地域クラブを紹介しています。
右記QRコードよりご覧ください。

